

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファームが20名の受講生とともにスタート！」

「いわて新農業人チャレンジファーム」は、これまで本格的に農業を学ぶ機会がなかった半農半Xや就農を志向する方々などに、多様な形で本県農業に関わりを持っていただくことを目的に、当社が令和2年度から開講している研修です。

令和5年度の受講生は20名(金曜日コース10名、土曜日コース10名)で、県内9市町村から受講生を迎えました。

また、県外から移住された方が約3分の1を占めています

令和5年4月14日に、盛岡市内で入講式を行い、年度始めで業務御多用なところ、岩手県農林水産部の照井農政担当技監、雫石町農林課の坂井課長補佐、一般社団法人岩手県農業会議の杉原代表理事会長にご列席を賜りました。

入講式後の第1回講義は、岩手県農林水産部農業普及技術課の藤原主任から、「県北・県央・県南地域の農業の特徴」や「主要農畜産物の全国順位」、「ブランド化の取組」などを説明していただきました。受講生は岩手県の農業の現状について熱心に聴講し、質疑応答では数多くの質問が出され、農業に対する意欲の高さを感じられました。

当研修は13種類の野菜栽培や農業機械の操作などの座学と実習とがセットになり、翌年1月26日までのカリキュラムとなっております。

第2回研修は、翌週4月21日(金)、22日(土)に雫石町南畑で「農業の単位、土づくり、さといもの植付け」等を行います。



オリエンテーションの様子



入講式の様子



第1回講義「いわての農業」の様子



講義後の質疑応答の様子